

事業所防災リーダー通信 2026 Vol.8

事業所防災リーダーのみなさまへ、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



事業所や店舗がある地域の災害リスクを知ろう

Think !! 事業所や店舗がある地域について、以下のことを考えてみましょう。



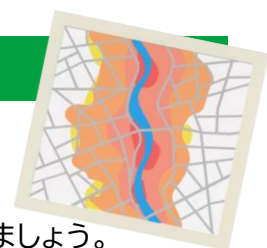
- ① 事業所や店舗の近くに河川はありますか？
河川がある場合、氾濫したら最悪のケースではどのくらい浸水するでしょうか？
- ② ニュースで見聞きする「土砂災害」。あなたの事業所や店舗はどのくらい危険性があるでしょうか？
- ③ 地震の危険性は「揺れ」だけではありません。他にどんな災害リスクがあるでしょうか？

これらの災害リスクを分かりやすく教えてくれるものが「**ハザードマップ**」です。
ハザードマップを見ることで「**その地域に、どんな災害リスクが、どのくらいあるか**」ということが分かります。
事業所や店舗がある地域の災害リスクを知り、よりの確に備えられるようにしましょう。

Q&A

Q1 ハザードマップはどこから見ることができますか？

A 各区市町村のHPから見るができます。
『事業所・店舗がある自治体(例:新宿区)』スペース『ハザードマップ』で検索してみましょう。
洪水・内水氾濫・土砂災害・高潮によって被害が異なるので「災害種別ごとに確認」しましょう。
*内水氾濫…下水道管の能力を超えた雨水が窪地などにたまる現象。事業継続の観点からも、
洪水ハザードマップだけでなく、内水ハザードマップも日頃から確認しておきましょう。



Q2 今までに事業所の近くでは土砂災害が起きたことが無いから安全ですよね？

A いいえ。
「今までに起きていないこと」は「これから起きないこと」を意味していません。
「都心＝河川がないから安全！」といった思い込みで頼らず、ハザードマップなどの信頼できる情報をもとにリスクを把握しましょう。

Q3 店舗は耐震化してあるので地震のリスクは考えなくて良いですよね？

A いいえ。
地震が発生すると火事などの二次災害や、津波・液状化現象など別の災害が発生する危険性があります。各自治体が用意するハザードマップの他に、東京都では「液状化予測図」や「地域危険度一覧表」などの情報も公開しているのでこちらも確認してみましょう。

※出典元「東京事業所防災実践マニュアル」P128～P133 「1.地域の災害リスクを考えるべし」より



●液状化予測図

<https://doboku.metro.tokyo.lg.jp/start/03-jyuhou/ekijyouka/top.aspx>

●地域危険度一覧表

<https://www.funenka.metro.tokyo.lg.jp/area-hazard-level/regional-risk-level-town/>



◀東京事業所防災実践マニュアルはこちら

東京都からのお知らせ

【東京都帰宅困難者対策オペレーションシステム（通称：**キタコンDX**）】が、**LINEだけでなくWEB**からもご利用できるようになりました。発災時の主な機能をご紹介します。**ぜひ、ご登録ください。**

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/res/projects/default_project/page/001/031/035/kitakondx_lf.pdf

<発災時の主な3つの機能>

近くの
一時滞在
施設を
調べる

一時滞在
施設への
経路を
見る

施設事前
利用登録の
手続きが
できる